

S-1・ドセタキセル療法(術後補助化学療法)

FN:(-) 催吐性:(-)

診断名:胃癌術後補助化学療法

○投与スケジュール(1コース 21日間)

・TS-1

→1~7コース目 Day1~14:S-1 80 mg/m²/day(2投1休。2~7コース目はドセタキセルと併用)

8コース目以降 Day1~28:S-1 80 mg/m²/day(8コース目以降は TS-1 のみで4投2休)

・ドセタキセル

→2~7コース目 Day1:ドセタキセル div 40mg/m²

○休薬・減量の目安

項目	休薬・減量を考慮する値・ 症状など		再開の目安	再開時減量を考慮する値・ 症状など	
白血球減少	≥ Grade3	2000/mm ³ 未満	3000/mm ³ 以上	≥Grade4	1000/mm ³ 未満
好中球減少	≥ Grade3	1000/mm ³ 未満	1500/mm ³ 以上	≥Grade4	500/mm ³ 未満
血小板減少	≥ Grade3	7.5 万/mm ³ 未満	7.5 万/mm ³ 以上	≥Grade3	5 万/mm ³ 未満
総ビリルビン	≥Grade2		≤Grade1	≥Grade2	
AST/ALT				≥Grade3	
クレアチニン	1.2mg/dL 以上		1.2mg/dL 未満	1.2mg/dL 以上	
下痢	≥Grade2		≤Grade1	≥Grade3	
口内炎					
その他非血液毒性					

○再開方法の目安

副作用による S-1 の休薬日数	再開方法の目安
同一クール内で S-1 の休薬が8日以上	次コースとして再開
同一クール内で S-1 の休薬が7日以内	同一コースとして再開

○減量方法

ドセタキセル	5mg/m ² ずつ2段階減量まで。
S-1	120mg/day→100mg/day→80mg/day

○注意事項

1. 第Ⅲ相臨床試験における Grade3/4 の有害事象発現頻度比較[S-1 群(%)/S-1+ドセタキセル群(%)]

白血球減少(2.0/22.6)、好中球減少(16.1/38.1)、食欲不振(12.4/14.1)、悪心(1.4/4.1)、下痢(8.9/3.5)、口腔粘膜炎(2.0/4.4)、発熱性好中球減少症(0.3/4.7)

2. S-1 単剤と比較し、Grade3/4 の有害事象として白血球減少、好中球減少及び発熱性好中球減少症などの発現頻度が高かった。

3. 投与期間は1年間。